【合格への法則】

高2年生(新高3年生)　模試の最大活用を

受験勉強に欠かせない「模擬試験」。しかし結果や志望校判定に一喜一憂して終わっていては、その価値を生かしきれない。志望校合格に必要なのは、入試本番までに合格最低点をクリアする学力を身につけることに尽きる。過去問を恐れず、過去問が提供してくれる様々な情報をくみ取る能力を養うことが合格につながる。具体的には結果をもとに以下の手順で「間違いノート」を作ることである。①間違った問題を先ずは抜き出す。②間違った原因をここに分析する。―知識が足りない・問題の条件の読み落とし・情報処理や論理的思考が的確でない・時間不足による焦りなど③その原因に対する対策・善後策を具体的に練る。

合格力を身につけるには、数知れぬ試行錯誤の過程で身につく「効率性」を意識した準備が必要である。模試はそのような合格力を多角的に身につけるためにある。十分に活用するべきである。

２０２４年度　新高3年生(現行2年生)の為のアウトライン講座

2月5日(月)スタート」

受講生のニーズに合わせて、低学年向きの「個別指導」、必勝を狙う受験生には「密度の高い集団授業」を提供します。